

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年9月15日 (2016.9.15)

【公表番号】特表2015-528443(P2015-528443A)

【公表日】平成27年9月28日 (2015.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2015-060

【出願番号】特願2015-526842(P2015-526842)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/74 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 15/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

G 0 1 N 30/14 (2006.01)

G 0 1 N 30/02 (2006.01)

G 0 1 N 30/72 (2006.01)

G 0 1 N 27/62 (2006.01)

G 0 1 N 33/566 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 K 35/17 (2015.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 14/74

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 15/00 Z N A

C 1 2 N 5/00 1 0 1

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 Q 1/68 A

G 0 1 N 30/14 A

G 0 1 N 30/02 B

G 0 1 N 30/72 G

G 0 1 N 27/62 V

G 0 1 N 33/566

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/04

A 6 1 K 35/17 A

A 6 1 P 35/02

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月25日 (2016.7.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

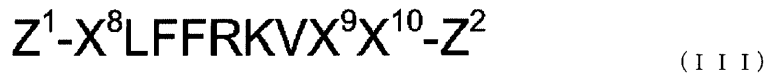
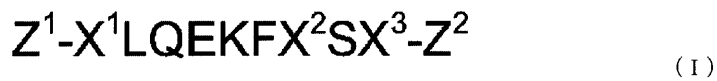
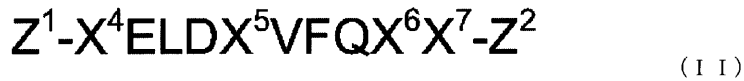
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の配列 ( I ) ~ ( V I I ) :

【化 1】



又は



( 式中、

$Z^1$  は、アミノ末端修飾基であるか、または存在せず、

$X^1$  は、1 ~ 43 アミノ酸の配列であるか、または存在せず、

$X^2$  は、L または S であり、

$X^3$  は、1 ~ 43 アミノ酸の配列であるか、または存在せず、

$X^4$  は、1 ~ 43 アミノ酸の配列であるか、または存在せず、

$X^5$  は、G または R であり、

$X^6$  は、アミノ酸であるか、または存在せず、

$X^7$  は、1 ~ 43 アミノ酸の配列であるか、または存在せず、

$X^8$  は、1 ~ 43 アミノ酸の配列であるか、または存在せず、

$X^9$  は、P または A であり、

$X^{10}$  は、1 ~ 43 アミノ酸の配列であるか、または存在せず、

$X^{11}$  は、1 ~ 43 アミノ酸の配列であるか、または存在せず、

$X^{12}$  は、S または T であり、

$X^{13}$  は、アミノ酸であるか、または存在せず、

$X^{14}$  は、1 ~ 43 アミノ酸の配列であるか、または存在せず、

$X^{15}$  は、1 ~ 43 アミノ酸の配列であるか、または存在せず、

$X^{16}$  は、アミノ酸であるか、または存在せず、

$X^{17}$  は、R または W であり、

$X^{18}$  は、アミノ酸であるか、または存在せず、

$X^{19}$  は、1 ~ 43 アミノ酸の配列であるか、または存在せず、

$X^{20}$  は、1 ~ 43 アミノ酸の配列であるか、または存在せず、

$X^{21}$  は、アミノ酸であるか、または存在せず、

$X^{22}$  は、アミノ酸であるか、または存在せず、

$X^{23}$  は、G または R であり、

$X^{24}$  は、1 ~ 43 アミノ酸の配列であるか、または存在せず、

$X^{25}$  は、1 ~ 43 アミノ酸の配列であるか、または存在せず、

$X^{26}$  は、アミノ酸であるか、または存在せず、

$X^{27}$  は、アミノ酸であるか、または存在せず、

$X^{28}$  は、K または N であり、

$X^{29}$  は、1 ~ 43 アミノ酸の配列であるか、または存在せず、

Z<sup>2</sup>は、カルボキシ末端修飾基であるか、または存在しない)のうちの1つを含む、50アミノ酸以下のペプチド。

【請求項2】

前記ペプチドは、8～12アミノ酸の長さを有する、請求項1に記載のペプチド。

【請求項3】

X<sup>4</sup>は、グルタミン(Q)であり；X<sup>6</sup>は、アミノ酸であり；及び/又はX<sup>7</sup>は、アミノ酸である、請求項1又は2に記載のペプチド。

【請求項4】

X<sup>6</sup>は、塩基性アミノ酸である、請求項1～3のいずれか1項に記載のペプチド。

【請求項5】

X<sup>6</sup>は、リジン(K)である、請求項1～4のいずれか1項に記載のペプチド。

【請求項6】

X<sup>7</sup>は、ロイシン(L)である、請求項1～5のいずれか1項に記載のペプチド。

【請求項7】

X<sup>5</sup>は、Gである、請求項1～6のいずれか1項に記載のペプチド。

【請求項8】

X<sup>5</sup>は、Rである、請求項1～6のいずれか1項に記載のペプチド。

【請求項9】

X<sup>1</sup>は、酸性アミノ酸であり、及び/又はX<sup>3</sup>は、アミノ酸である、請求項1又は2に記載のペプチド。

【請求項10】

X<sup>1</sup>は、グルタミン酸(E)である、請求項1、2及び9のいずれか1項に記載のペプチド。

【請求項11】

X<sup>3</sup>は、疎水性アミノ酸である、請求項1、2、9及び10のいずれか1項に記載のペプチド。

【請求項12】

X<sup>3</sup>は、ロイシン(L)である、請求項11に記載のペプチド。

【請求項13】

X<sup>2</sup>は、Lである、請求項1、2及び9～12のいずれか1項に記載のペプチド。

【請求項14】

X<sup>2</sup>は、Sである、請求項1、2及び9～12のいずれか1項に記載のペプチド。

【請求項15】

X<sup>11</sup>は、存在せず；X<sup>13</sup>は、セリンであり；及び/又はX<sup>14</sup>は、塩基性アミノ酸である、請求項1又は2に記載のペプチド。

【請求項16】

X<sup>14</sup>は、リジン(K)である、請求項1、2及び15のいずれか1項に記載のペプチド。

【請求項17】

X<sup>16</sup>は、メチオニン(M)であり；X<sup>15</sup>は、アラニン(A)であり；X<sup>18</sup>は、セリン(S)であり；及び/又はX<sup>19</sup>は、塩基性アミノ酸である、請求項1又は2に記載のペプチド。

【請求項18】

X<sup>19</sup>は、リジン(K)である、請求項1、2及び17に記載のペプチド。

【請求項19】

X<sup>22</sup>は、バリン(V)であり；及び/又はX<sup>21</sup>はアルギニン(R)である、請求項1又は2に記載のペプチド。

【請求項20】

X<sup>27</sup>は、メチオニン(M)であり；及び/又はX<sup>26</sup>は、バリン(V)である、請求項1又は2に記載のペプチド。

## 【請求項 2 1】

Z<sup>1</sup> は、存在せず；及び / 又は Z<sup>2</sup> は、存在しない、請求項 1 ~ 2 0 のいずれか 1 項に記載のペプチド。

## 【請求項 2 2】

前記ペプチドは、E L Q E K F L S L（配列番号 1 5）；E L Q E K F S S L（配列番号 1 6）；Q E L D G V F Q K L（配列番号 1 7）；Q E L D R V F Q K L（配列番号 1 8）；S L F F R K V P F（配列番号 1 9）；S L F F R K V A F（配列番号 2 0）；S V L K P G N S K（配列番号 2 1）；T V L K P G N S K（配列番号 2 2）；A M Y D K G P F R S K（配列番号 2 3）；A M Y D K G P F W S K（配列番号 2 4）；R V S L P T S P G（配列番号 2 5）；R V S L P T S P R（配列番号 2 6）；V M G N P G T F K（配列番号 2 7）；V M G N P G T F N（配列番号 2 8）である、請求項 1 に記載のペプチド。

## 【請求項 2 3】

請求項 1 ~ 2 2 のいずれか 1 項に記載のペプチドをコードする、核酸。

## 【請求項 2 4】

（ a ）請求項 1 ~ 2 2 のいずれか 1 項に記載の配列（ I ）若しくは（ I I I ）のペプチドを負荷した H L A - B \* 0 8 0 1 対立遺伝子の；（ b ）請求項 1 ~ 2 2 のいずれか 1 項に記載の配列（ I V ）、（ V ）、（ V I ）若しくは（ V I I ）のペプチドを負荷した H L A - A \* 0 3 0 1 対立遺伝子の；又は（ c ）請求項 1 ~ 2 2 のいずれか 1 項に記載の配列（ I I ）のペプチドを負荷した H L A - B \* 4 4 0 3 対立遺伝子の、単離された主要組織適合複合体（ M H C ）クラス I 分子。

## 【請求項 2 5】

その表面に、M H C クラス I 分子 / ペプチド複合体を発現する、単離された細胞であって、前記 M H C クラス I 分子 / ペプチド複合体が、（ a ）請求項 1 ~ 2 2 のいずれか 1 項に記載の配列（ I V ）、（ V ）、（ V I ）若しくは（ V I I ）のペプチドを負荷した H L A - A \* 0 3 0 1 対立遺伝子の M H C クラス I 分子；（ b ）請求項 1 ~ 2 2 のいずれか 1 項に記載の配列（ I ）若しくは（ I I I ）のペプチドを負荷した H L A - B \* 0 8 0 1 対立遺伝子の M H C クラス I 分子；又は（ c ）請求項 1 ~ 2 2 のいずれか 1 項に記載の配列（ I I ）のペプチドを負荷した H L A - B \* 4 4 0 3 対立遺伝子の M H C クラス I 分子である、単離された細胞。

## 【請求項 2 6】

対象における癌を治療するための、請求項 2 4 に規定される M H C クラス I 分子を認識する C D 8 T リンパ球。

## 【請求項 2 7】

前記 C D 8 T リンパ球は、i n v i t r o で増殖させた C D 8 T リンパ球である、請求項 2 6 に記載の使用のための C D 8 T リンパ球。

## 【請求項 2 8】

前記対象は、同種幹細胞移植（ A S C T ）のレシピエントである、請求項 2 6 又は 2 7 に記載の使用のための C D 8 T リンパ球。

## 【請求項 2 9】

請求項 1 ~ 2 2 のいずれか 1 項に記載のペプチドであって、前記ペプチドに特異的な C D 8 T リンパ球を製造するための、ペプチド。